



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 広報・IR室長 (氏名)河村 真 (TEL)03(6838)2803
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	595,962	△3.2	5,458	△28.6	8,408	△20.4	5,132	△25.5
29年3月期第2四半期	615,778	2.3	7,640	25.1	10,569	15.3	6,890	61.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 6,219百万円(2.1%) 29年3月期第2四半期 6,093百万円(115.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	74.82	67.95
29年3月期第2四半期	100.42	91.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	633,584	192,941	30.4
29年3月期	598,871	188,271	31.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期192,772百万円 29年3月期188,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,186,000	△3.7	14,300	0.4	18,700	△5.8	10,300	△27.6	150.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	78,270,142株	29年3月期	78,270,142株	
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	9,766,778株	29年3月期	9,518,069株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	68,598,227株	29年3月期2Q	68,612,080株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における医療用医薬品市場は、昨年度に続きマイナス成長となりました。C型肝炎治療薬市場が前年同期に比べ大幅に縮小した影響を受け、当社もマイナス成長となりましたが、計画に対しては売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも計画を上回る結果となりました。

当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、引き続き、患者様や医療機関さらには在宅医療・看護に携わる専門職の皆さまが抱える課題を解決する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を加速させるとともに、人員・組織の最適化と業務の効率化を推進することで、収益性の向上に努めました。昨年11月、後発医薬品の数量シェア80%時代を見据えて発足させた共創未来ファーマ(株)は、8月に「共創未来ファーマ」ブランドとして初めて製造販売承認(6成分15品目)を取得いたしました。また、9月には新たに2成分5品目を発売し、発売製品は6成分19品目となりました。

当第2四半期の連結業績は、売上高595,962百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益5,458百万円(前年同期比28.6%減)、経常利益8,408百万円(前年同期比20.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,132百万円(前年同期比25.5%減)となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業においては、製品価値に応じた価格体系に基づく単品単価での価格交渉を推進するなど適正利益の確保に注力するとともに、事業基盤の強化に取り組みました。また大きな収益の柱として、患者様や医療機関様が抱える課題の解決や収益向上に貢献する顧客支援システムの開発・提案に積極的に取り組み、特に「初診受付サービス」と「ENIFvoice SP/SP+A」の契約獲得に努めました。その結果、当第2四半期の医薬品卸売事業の売上高は570,639百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益(営業利益)は5,001百万円(前年同期比36.3%減)となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応を進めるとともに、人員の適正化および当社の顧客支援システムの活用などによる店舗業務の標準化や効率化を推進することで、収益性の改善に取り組みました。その結果、売上高は48,204百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,305百万円(前年同期比590.1%増)となりました。

治験施設支援事業では、売上高は164百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益(営業利益)は50百万円(前年同期比4.1%減)、情報機器販売事業においては、売上高は692百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント損失(営業損失)は52百万円となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%増加し、457,052百万円となりました。これは、現金及び預金が33,668百万円増加し、受取手形及び売掛金が3,155百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、176,531百万円となりました。これは、投資有価証券が4,591百万円、有形固定資産が1,361百万円それぞれ増加し、のれんが947百万円減少したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、633,584百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、394,962百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が24,746百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%増加し、45,680百万円となりました。これは、長期借入金が4,132百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、440,642百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、192,941百万円となりました。これは、利益剰余金が4,118百万円、その他有価証券評価差額金が1,087百万円それぞれ増加したこと等によります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し33,638百万円増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は61,360百万円(前年同期比25,132百万円増加)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、39,009百万円(営業活動によるキャッシュ・フローが前年同期比21,776百万円増加)となりました。これは、資金増加要因として、税金等調整前四半期純利益8,359百万円を計上、減価償却費2,191百万円、のれん償却額1,018百万円、売上債権の減少額3,198百万円、仕入債務の増加額24,746百万円がありました。資金減少要因として、たな卸資産の増加額2,650百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、6,576百万円(投資活動によるキャッシュ・フローが前年同期比2,981百万円減少)となりました。これは、資金減少要因として、有形固定資産の取得による支出3,054百万円、投資有価証券の取得による支出2,991百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1,205百万円(財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期比6,469百万円増加)となりました。これは、資金増加要因として、長期借入金の純増加額3,771百万円がありました。資金減少要因として、ファイナンス・リース債務の返済による支出926百万円、配当金の支払額1,031百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日発表の平成30年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,966	65,634
受取手形及び売掛金	284,205	281,049
商品及び製品	73,575	76,226
その他	37,616	34,457
貸倒引当金	△312	△315
流動資産合計	427,052	457,052
固定資産		
有形固定資産	86,371	87,733
無形固定資産		
のれん	4,300	3,352
その他	2,998	2,785
無形固定資産合計	7,298	6,138
投資その他の資産		
投資有価証券	68,781	73,373
その他	11,972	11,928
貸倒引当金	△2,605	△2,641
投資その他の資産合計	78,148	82,660
固定資産合計	171,818	176,531
資産合計	598,871	633,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,039	373,786
短期借入金	4,216	3,716
未払法人税等	3,020	3,190
賞与引当金	3,506	3,645
役員賞与引当金	75	34
返品調整引当金	324	317
資産除去債務	-	1
その他	8,575	10,270
流動負債合計	368,758	394,962
固定負債		
社債	15,041	15,033
長期借入金	1,962	6,094
退職給付に係る負債	1,786	1,824
資産除去債務	1,078	1,081
負ののれん	49	35
その他	21,923	21,609
固定負債合計	41,841	45,680
負債合計	410,599	440,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,856	47,874
利益剰余金	128,123	132,241
自己株式	△16,051	△16,611
株主資本合計	170,577	174,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,836	22,923
土地再評価差額金	△4,287	△4,304
その他の包括利益累計額合計	17,548	18,618
新株予約権	145	168
純資産合計	188,271	192,941
負債純資産合計	598,871	633,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	615,778	595,962
売上原価	560,101	542,754
売上総利益	55,677	53,208
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	20,852	20,684
賞与引当金繰入額	3,604	3,609
役員賞与引当金繰入額	38	34
退職給付費用	121	112
福利厚生費	3,904	3,962
車両費	543	543
貸倒引当金繰入額	61	53
減価償却費	2,208	2,191
のれん償却額	1,107	1,018
賃借料	3,451	3,528
租税公課	898	860
仮払消費税の未控除費用	2,629	2,615
その他	8,613	8,533
販売費及び一般管理費合計	48,036	47,749
営業利益	7,640	5,458
営業外収益		
受取利息	37	32
受取配当金	677	726
受取手数料	1,522	1,539
負ののれん償却額	13	13
持分法による投資利益	21	28
その他	1,059	942
営業外収益合計	3,332	3,283
営業外費用		
支払利息	52	24
不動産賃貸費用	273	207
その他	77	102
営業外費用合計	403	333
経常利益	10,569	8,408

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	153	1
関係会社清算益	-	39
その他	8	2
特別利益合計	162	44
特別損失		
固定資産処分損	99	42
減損損失	12	47
役員退職慰労金	35	-
その他	2	4
特別損失合計	149	93
税金等調整前四半期純利益	10,581	8,359
法人税、住民税及び事業税	3,458	3,237
法人税等調整額	232	△11
法人税等合計	3,691	3,226
四半期純利益	6,890	5,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,890	5,132

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	6,890	5,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△791	1,079
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	7
その他の包括利益合計	△796	1,087
四半期包括利益	6,093	6,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,093	6,219
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,581	8,359
減価償却費	2,208	2,191
減損損失	12	47
のれん償却額	1,107	1,018
負ののれん償却額	△13	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	50	38
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△92	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	149	139
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	△41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46	39
受取利息及び受取配当金	△715	△759
支払利息	52	24
固定資産除売却損益(△は益)	△53	40
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	△0
売上債権の増減額(△は増加)	51,542	3,198
たな卸資産の増減額(△は増加)	172	△2,650
その他の資産の増減額(△は増加)	1,319	1,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,984	24,746
その他の負債の増減額(△は減少)	△602	871
未払消費税等の増減額(△は減少)	△794	345
その他の損益(△は益)	△2,110	△2,042
小計	25,839	36,546
利息及び配当金の受取額	713	756
利息の支払額	△110	△62
法人税等の支払額	△11,435	△245
その他	2,226	2,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,233	39,009

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△632	△648
定期預金の払戻による収入	630	619
有形固定資産の取得による支出	△1,167	△3,054
有形固定資産の売却による収入	590	1
無形固定資産の取得による支出	△637	△278
無形固定資産の売却による収入	1	-
投資有価証券の取得による支出	△337	△2,991
投資有価証券の売却及び償還による収入	499	1
関係会社株式の取得による支出	△2,133	△30
資産除去債務の履行による支出	△11	△11
貸付けによる支出	△429	△253
貸付金の回収による収入	72	47
その他	△38	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,595	△6,576
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,722	18
長期借入れによる収入	217	5,000
長期借入金の返済による支出	△1,749	△1,228
自己株式の取得による支出	△0	△625
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△979	△926
配当金の支払額	△1,029	△1,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,264	1,205
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,373	33,638
現金及び現金同等物の期首残高	27,854	27,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,228	61,360

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	568,158	46,962	166	490	615,778	—	615,778
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,528	190	—	120	23,839	△23,839	—
計	591,687	47,152	166	611	639,618	△23,839	615,778
セグメント利益又は損失(△)	7,854	189	53	△35	8,061	△420	7,640

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	547,253	48,008	164	535	595,962	—	595,962
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,385	195	—	156	23,738	△23,738	—
計	570,639	48,204	164	692	619,701	△23,738	595,962
セグメント利益又は損失(△)	5,001	1,305	50	△52	6,304	△846	5,458

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。